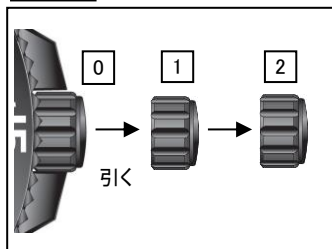
陸上自衛隊ＰＲＯモデル　Ver.3

S690M-01

操作説明書（操作各部名称）

■はじめに

ご使用の前に必ずこの「操作説明書」と別途添付の小冊子「取扱説明書・保証書」をお読みになってからご使用ください。

■ 日付・時刻　修正方法

①「日付カレンダー」の修正

リューズを一段引き出し、「1」の位置にします。この位置でリューズを12時方向（時計方向）に回すと「日付」の修正をする事ができます。終了の際は必ず「0」の位置に戻してください。

※PM9時～AM3時の間は日付修正を行わないでください。万が一必要な場合は、
　下記②を参考に上記時間外にしてから日付の修正を行ってください。

②「時刻」の修正

リューズを更に引き出し、「2」の位置にします。この位置でリューズを操作すると「時刻（時・分）」の修正が出来ます。終了の際はリューズを必ず「0」の位置に戻してください。

※特に午前・午後の時間のセットは正確に行ってください。（下記参照）

（時間と日付の合わせ方のポイント）

※時刻合わせ及び日付カレンダーの修正は、まず日付を前日に合わせてからゆっくりと時分針を現在の日時まで
進めて頂く事で確実に時間（午前・午後及び日付）を合わせる事ができます。

■ ストップウォッチの針位置修正

時刻をセットする前にストップウォッチの秒針と分針が「0」（12時）の位置にある事を確認してください。

ストップウォッチの使用中は、下記順番でボタンを押して、リセットしてから針が「0」の位置に戻っていることを確認してください。

・ストップウォッチが動作中の場合→Aボタンを押す→Bボタンを押す
・ストップウォッチが停止している場合→Bボタンを押す
・スプリットタイムが表示されている場合→Bボタンを押す→Aボタンを押す→Bボタンを押す

※ストップウォッチの針のいずれかが「0」位置にない場合、以下をご参考ください。
①リューズを「図2」の「2」の位置にします。
②AボタンもしくはBボタンを押して、ストップウォッチの秒進と分針「0」の位置にリセットします。
　※Aボタンを押すと、針は反時計回りに動きます。Bボタンを押すと、時計回りに針が動きます。
③リューズを元の位置に戻します。

■ ご注意いただきたいこと

※大切な時計を長くご愛用いただくために、以下の事項をお守りください。

☆カレンダー（日付）の早送りは、PM9時～AM3時の間は避けてください。機械に負担がかかり、故障の原因となります。
☆精密機器につき、針位置等表示ズレが生じる場合があります。
☆リューズ操作は優しく行うようにしてください。無理に回したり引っ張ったりすると、リューズを壊してしまい、防水不良の原因となる場合があります。
　※ご使用後のリューズはしっかり確実に締めて頂く必要があります。
☆水中でのリューズ、ボタン操作は厳禁です。くもりや水入りの原因となり、重大な故障の原因となります。